

## 第 41 回言語文化教育研究学会月例会

### 日本語習得過程におけるネットワーク形成と社会参加

#### —在日インド人ビジネスパーソンの事例から—

**日時：4月22日（金）18:00-19:45**

**場所：早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 8階会議室**

**参加費：無料 予約：不要（当日、直接会場にお越しください）**

**問い合わせ：monthly@alce.jp**

**話題提供 鈴木真奈（鈴木日本語アカデミー代表）**

私は2009年、突然日本語教師になりました。近所のインド人に「日本語を教えてくれないか」と頼まれたのがきっかけです。私の実践の場を一言で表現すると、「人と人を繋ぐ場」でしょうか。まず、2014年以來、教室実践をずっと公開しています。毎週、誰かと知り合うのが当然の教室になっており、そうした教室の文脈が自然なコミュニケーションに繋がっていると感じます。また、学習者の主体性を保証するサイレント・ウェイに共感し、2012年以來、教授法として取り入れています。SWはレクチャー的なことをほとんどしないので、学習者同士が常に助け合い、相互理解が促進されます。

一方、永住者として生活している長期滞在者の中には、80年代、90年代に来日し、職場環境をうまく利用して現場でこつを習得し、社会参加を果たしている方もいます。こうした多様な日本語学習者が増える今、学習者側の習得問題を扱うだけでは限界があります。関わっていく私たちの役割は何か、そんなことを色々話し合えたらと思います。